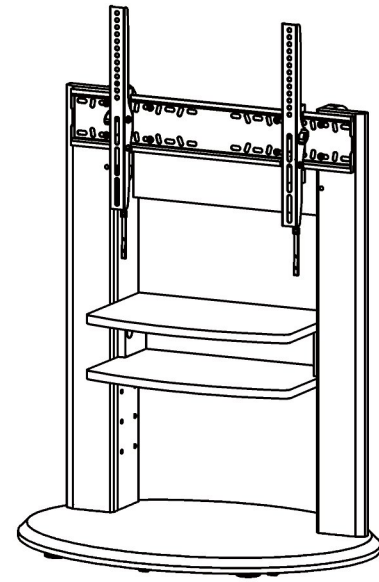
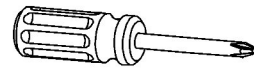


完成図

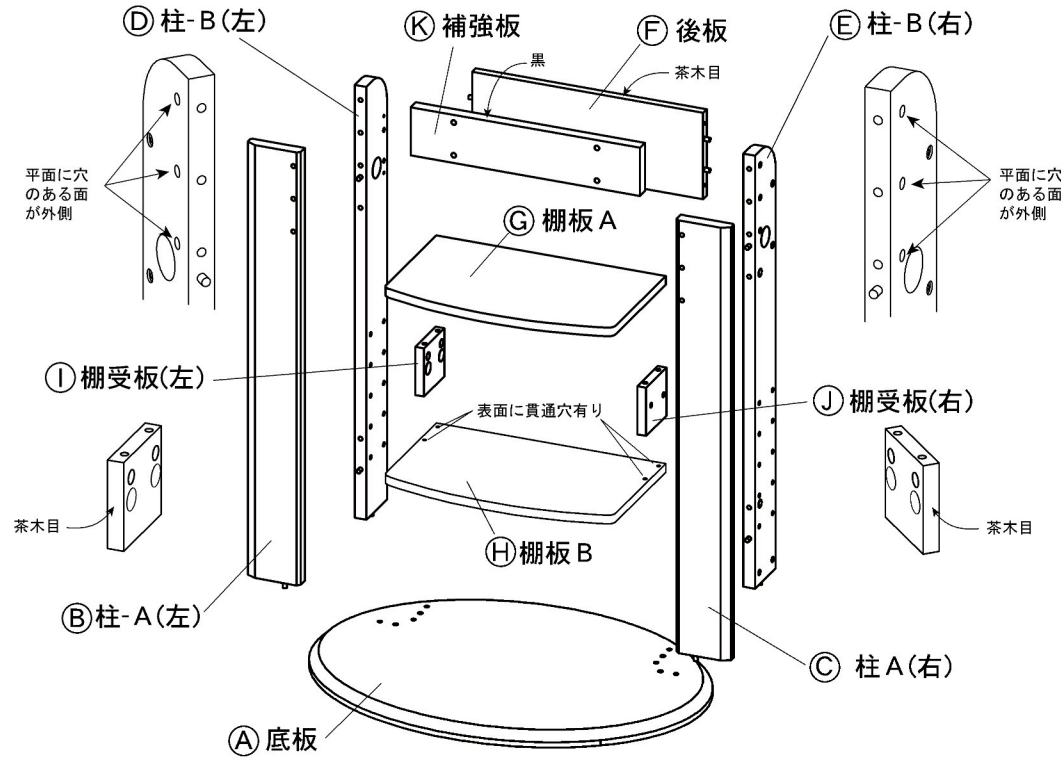


プラスドライバーをご用意ください。



部品の確認

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。

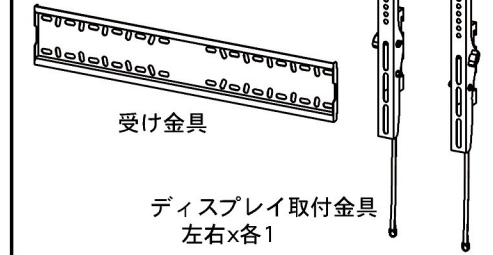


【本体組み立て用部品】

No.	部品図	部品名	数量
①		締付けネジ	8
②		カムネジ	8
③		丸ナット φ10x16	10
④		ボルト-A M6x60	10
⑤		ボルト-B M6x40	4
⑥		ボルト-C M6x25	4
⑦		ラップネジ	8
⑧		配線ホルダー	3
⑨		固定ネジ	3
⑩		アジャスター	4
⑪		ネジ隠しシール	4

TLT-002-BK

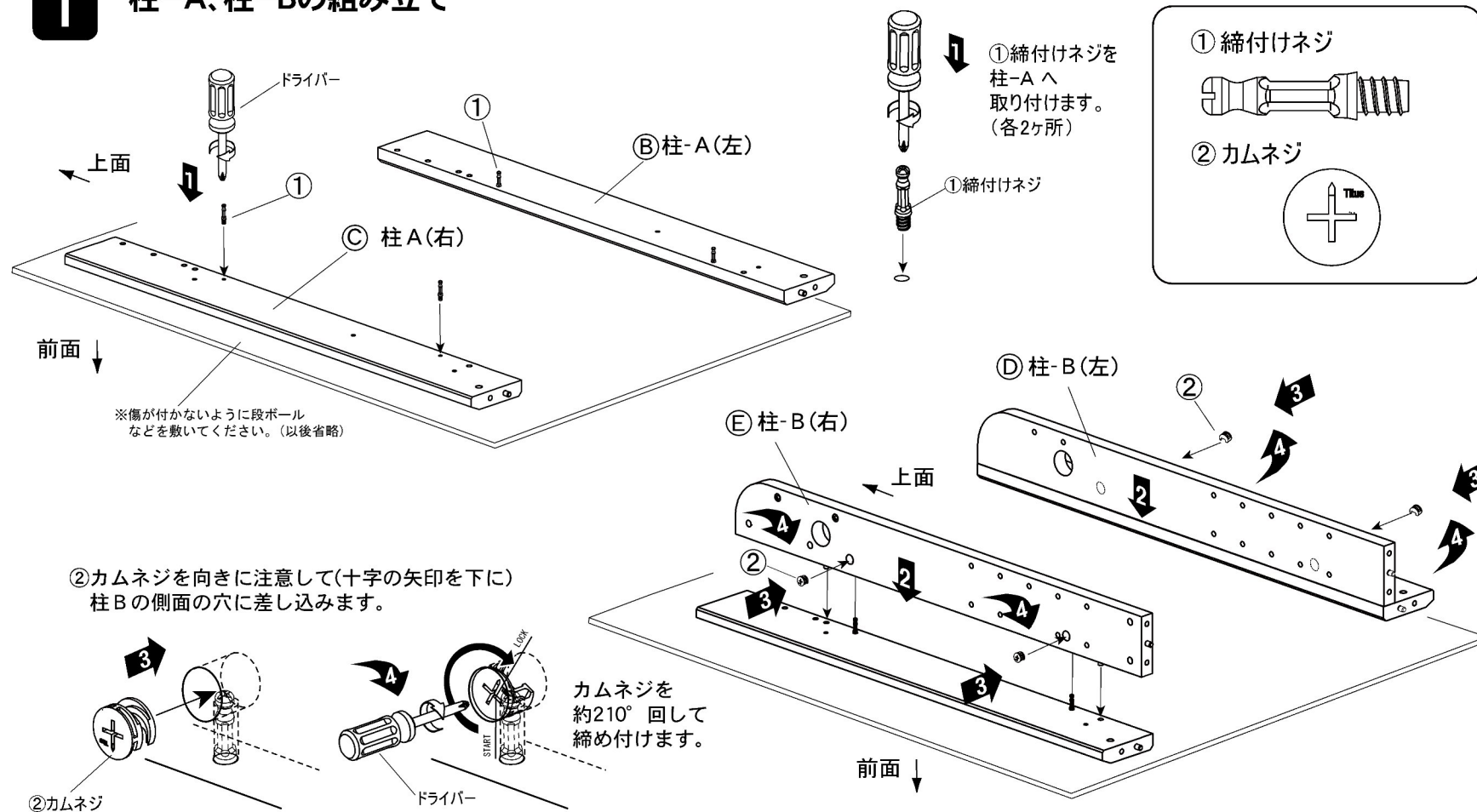
(箱に入っています。)



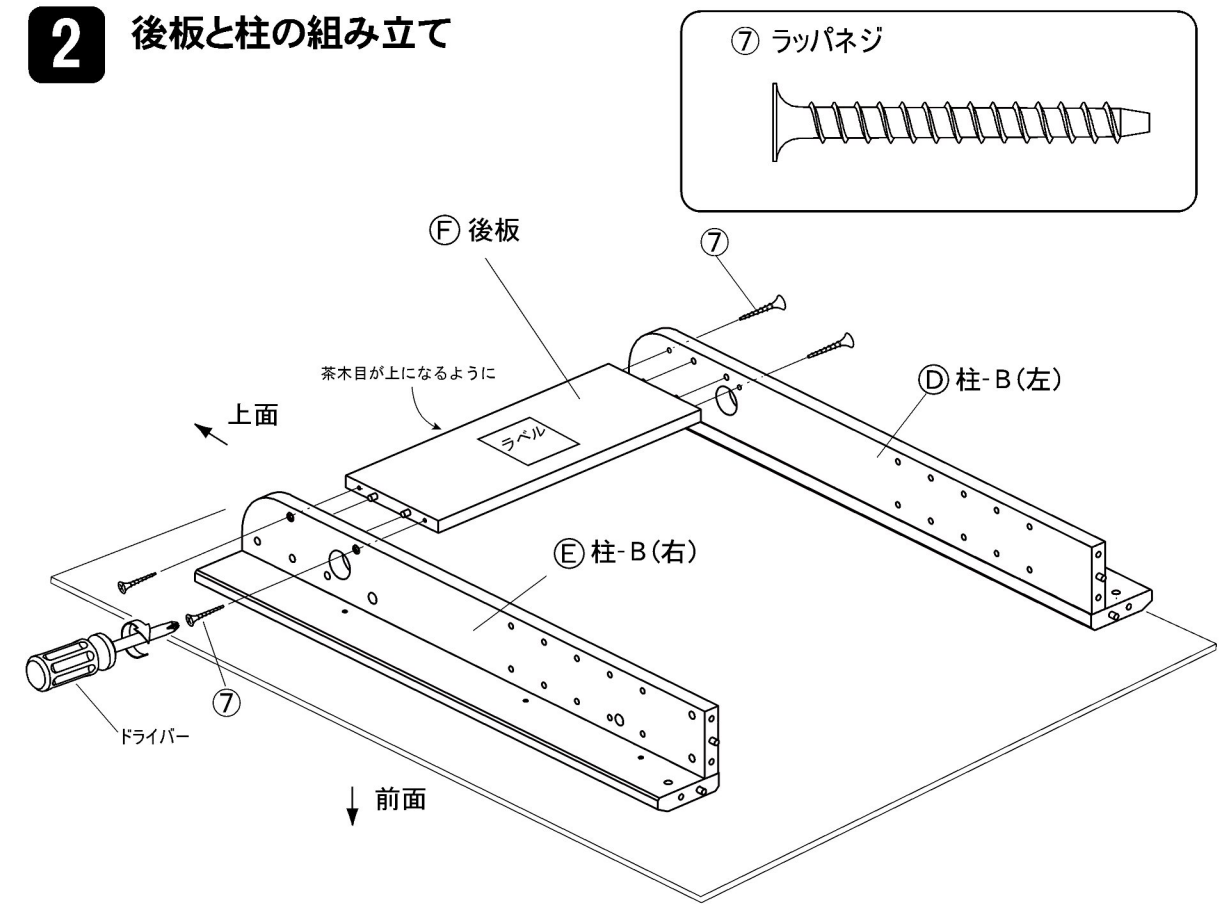
※ TLT-002-BKの部品のうち、  
m 六角レンチは本体の  
組み立てに使用します。

※テレビ取付用のネジは、こちらの箱に  
入っているネジを使用します。  
(詳細はTLT-002-BKの説明書を参照してください。)

1 柱-A、柱-Bの組み立て



2 後板と柱の組み立て

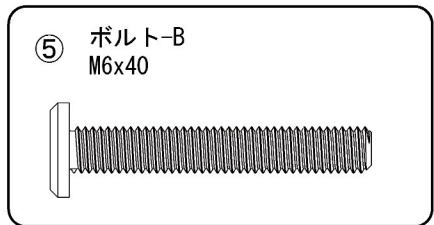
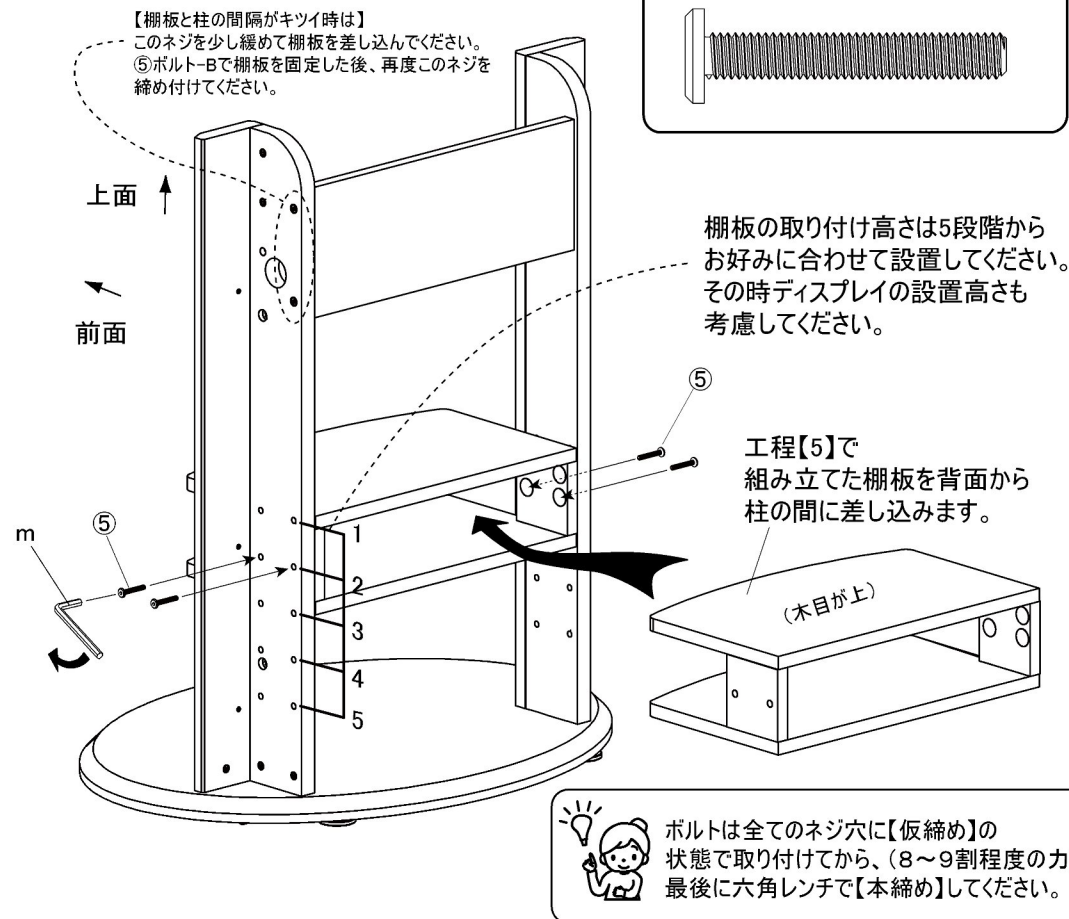


裏面に続きます

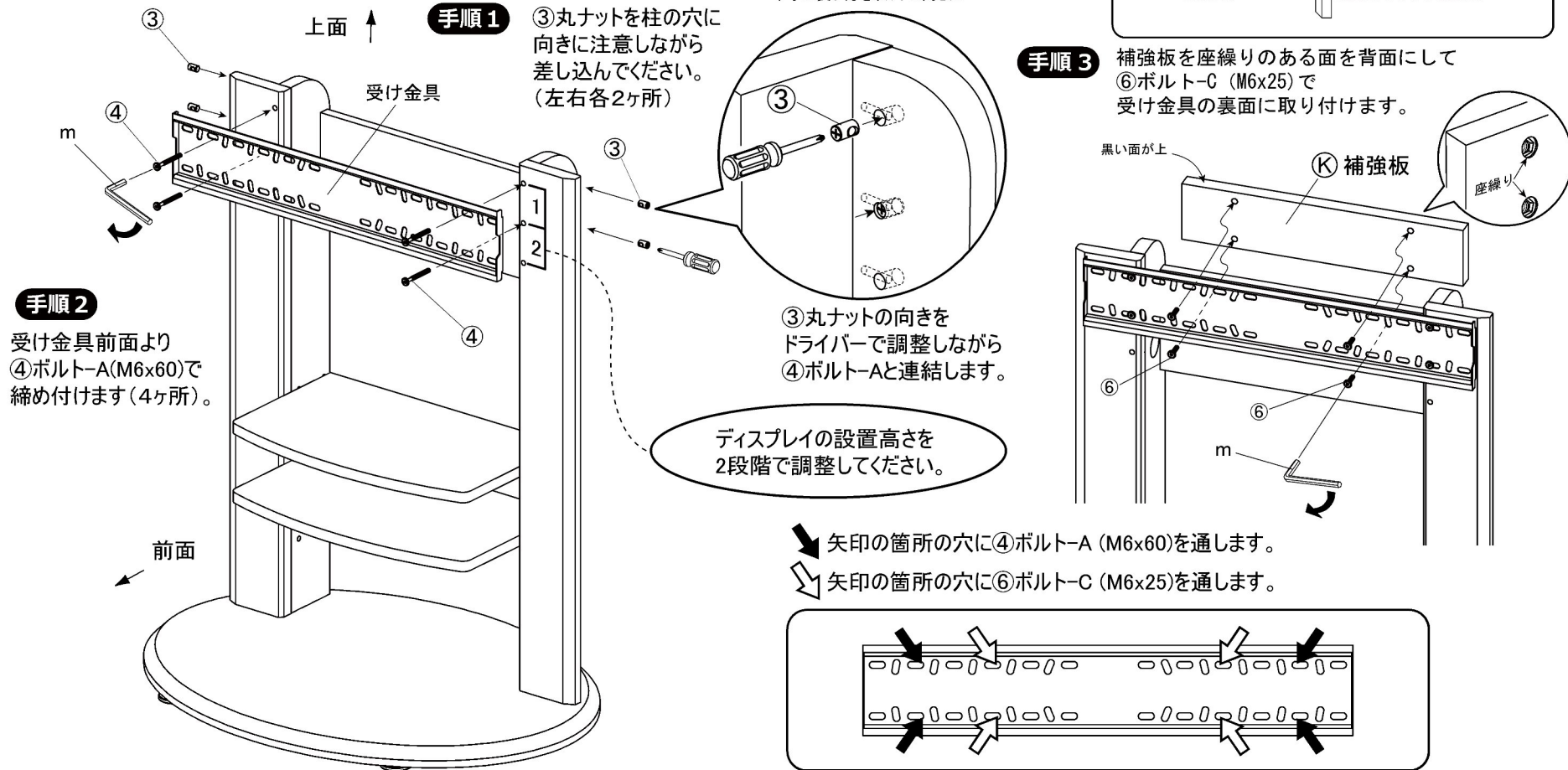




## 6 棚板の取り付け



## 7 受け金具の取り付け、及び補強板の取り付け



## 8 ディスプレイ取付金具の組み立て、ディスプレイの設置

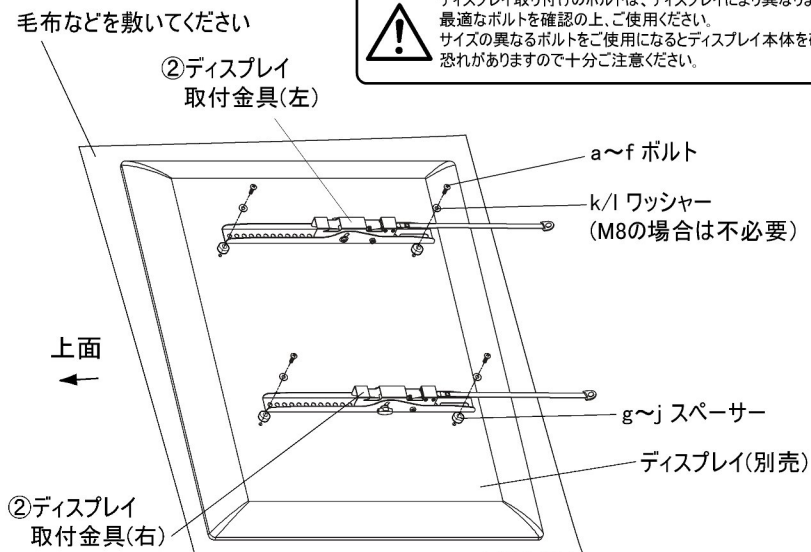
【TLT-002-BK】の取扱説明書もお読みください。

ディスプレイの取り付け作業は必ず2人で行ってください。

### 2 ディスプレイ取付金具とディスプレイの組み立て

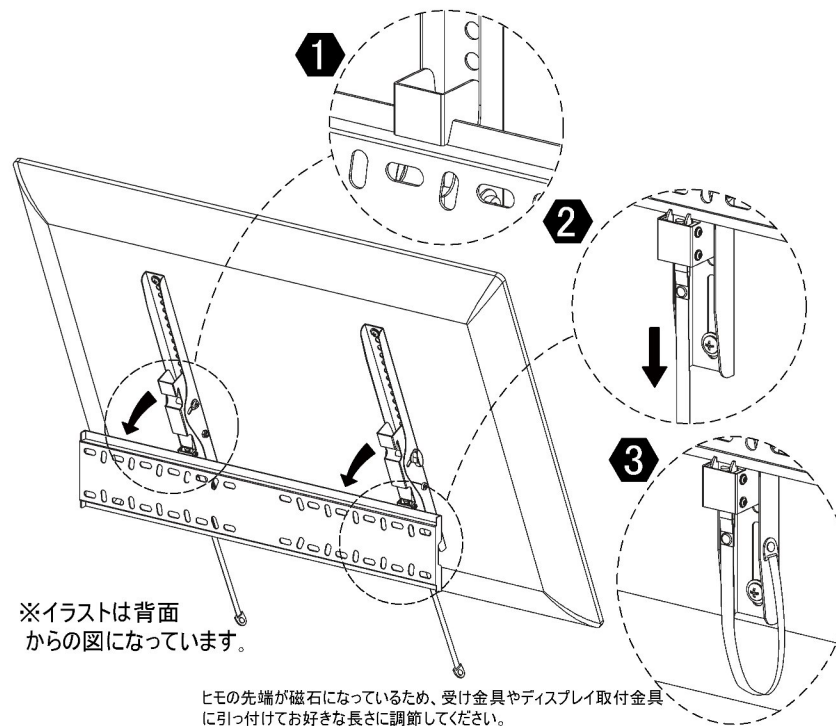
ご使用になるディスプレイに合わせたボルトでディスプレイ取付金具を取付けます。a~fの各種ボルト(M4/M6/M8)が付属していますので、必要に応じてご使用ください。付属のボルトで取付けが出来ない場合、ボルトのサイズをメーカーにご確認して頂き別途お求めください。g~jのスペーサーは、ディスプレイ背面の形状や配線位置に応じて使用してください。

ディスプレイ取り付けのボルトは、ディスプレイにより異なりますので、最適なボルトを確認の上、ご使用ください。サイズの異なるボルトをご使用になるとディスプレイ本体を破損する恐れがありますので十分ご注意ください。



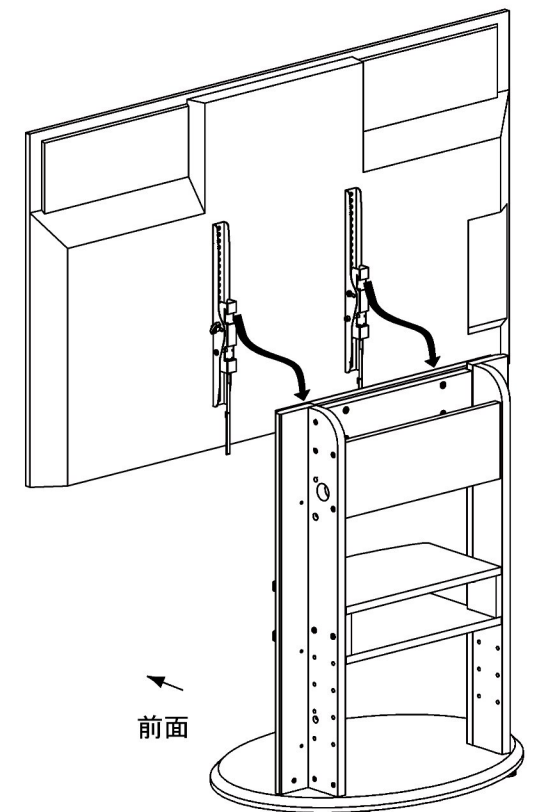
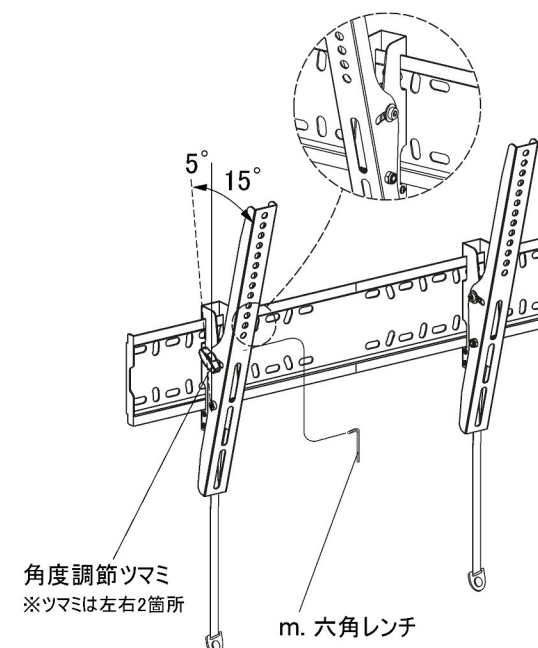
### 3 ディスプレイの設置

ディスプレイ取付金具を受け金具にセットします。ディスプレイを外す時は紐を引張りロックを解除してください。



### 角度調節の仕方

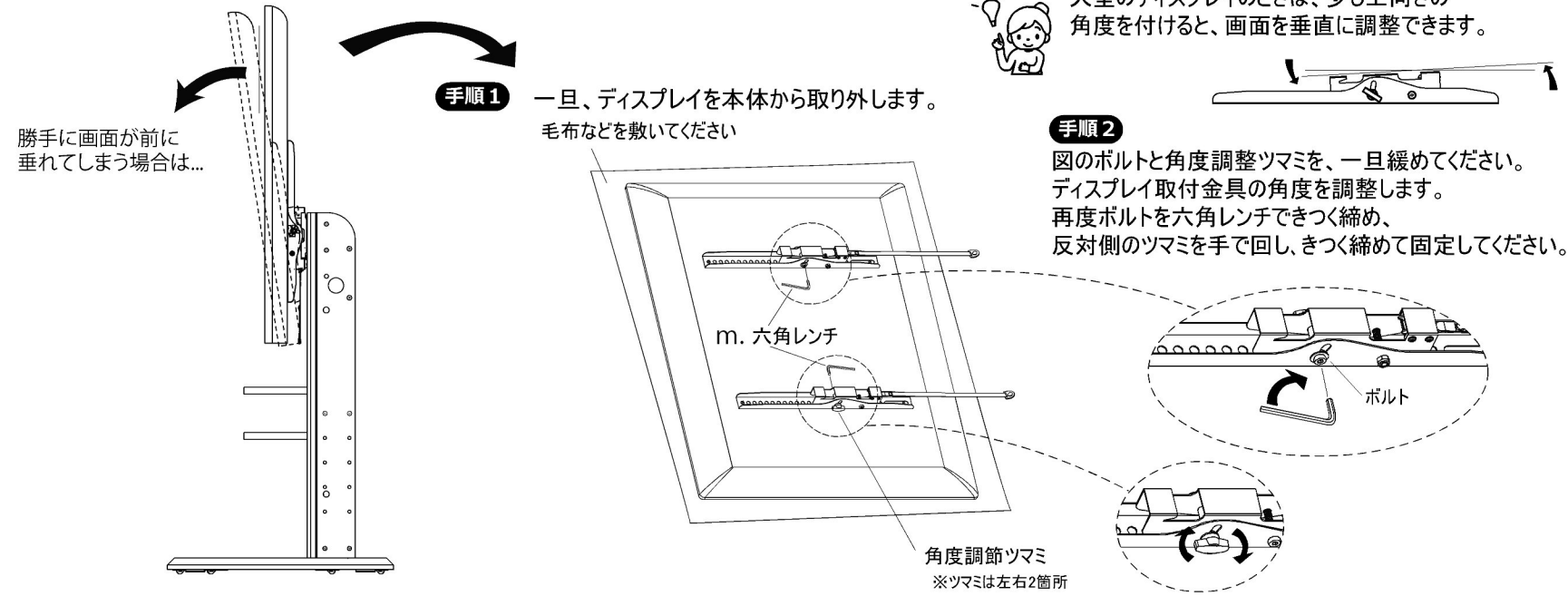
●下図にあるボルトを付属の六角レンチで緩め、反対側のツマミも緩めると前方15° 後方5°の範囲で角度調節ができます。角度調節後は、必ずツマミとボルトをしっかりと締めて固定をしてください。



裏面に続きます

## 9 ディスプレイ角度の調整

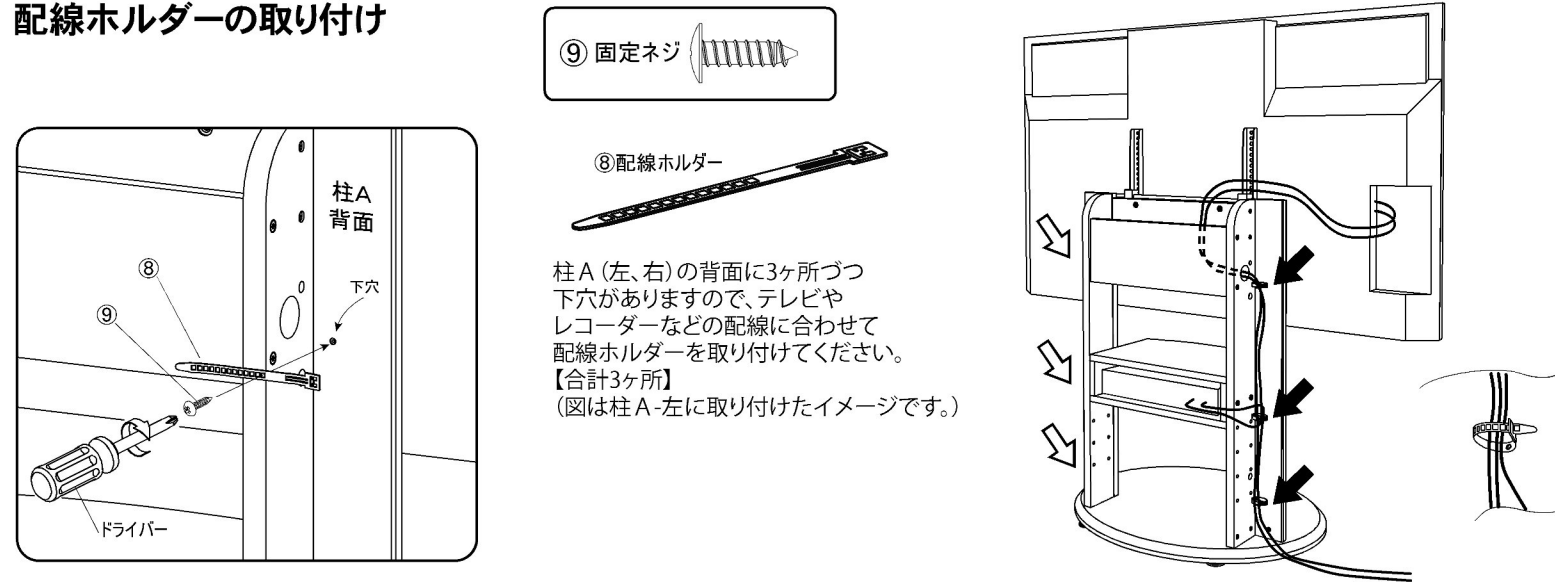
ディスプレイを取り付けたときに、角度調節(チルト)が緩んでくる場合



大型のディスプレイのときは、少し上向きの角度を付けると、画面を垂直に調整できます。

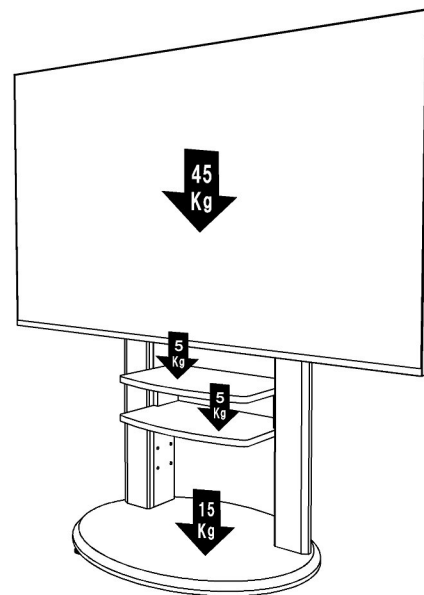
図のボルトと角度調整ツマミを、一旦緩めてください。ディスプレイ取付金具の角度を調整します。再度ボルトを六角レンチできつく締め、反対側のツマミを手で回し、きつく締めて固定してください。

## 10 配線ホルダーの取り付け



## 11 完成

**【耐荷重】**  
テレビ荷重: 45kg以下  
棚板: 各5kg以下  
底板: 15kg以下  
総耐荷重: 70kg以下  
\*この範囲内でお使いください

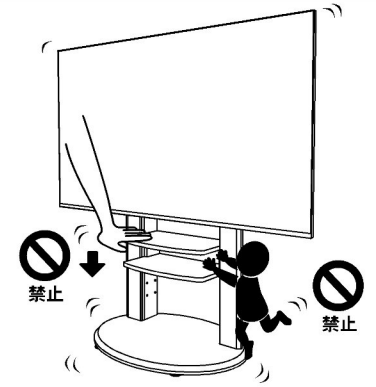


移動させるときは接続している機器を取り外してからゆっくり動かしてください。フローリング床の表面が柔らかい場合、キャスターの移動跡が残る場合があります。

### ご注意

棚板の上に乗ったり、体重を掛けたりしないでください。

「特に小さいお子様のいるご家庭は注意してください。」  
● 倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。



### 使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 警告

- テレビやテレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください  
テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 振動のある場所に置かないでください  
振動でテレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください  
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください  
テレビ台の強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

### 注意

- 薄型テレビ以外のものを載せないでください  
本製品は薄型テレビを載せる専用テレビ台です。その他のものや重いものを載せないでください。
- テレビはテレビ台の中心に設置してください。  
設置のバランスが悪いとテレビが倒れたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。  
※ 記載されている耐荷重を超える機器は載せないでください。
- 高温・多湿の場所に置かないでください  
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 手や指はさみにご注意ください  
ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。
- 移動・設置において
  - 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります
  - 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
  - キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。
- ガラス部品について  
ガラスには強化処理を施していますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛び散りけがの原因となりますのでご注意ください。
  - ガラスに物をぶつける、ガラス扉に開けたままぶつかるなど強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
  - 鋭利なもので傷つけたり、ガラス面を突いたりしないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
  - ガラスに傷やかけが生じた時は、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください  
さびや故障・変形の原因となります。
- 放熱を妨げないでください  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に押しつけてないでください。(10cm以上の間隔をあける)
- 転倒防止の対策を行ってください  
転倒防止の対策を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください  
変形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。



一般社団法人 日本家具産業振興会